



東新潟中学校ホームページも、ぜひご覧ください！～  
URL : <http://www.higashiniigata-jh.city-niigata.ed.jp>

## 学校評価の結果から

当校では、教育目標「たくましく生きる生徒」の育成を目指し、「確かな学力の向上」「社会性の育成」「家庭学習の習慣化」を教育課題として日々取り組んでいます。生徒と保護者とのアンケート集計結果がまとめ、全職員で共通理解を図りました。また、数値結果が不十分であった項目や昨年と比べて数値が下がった項目については改善点を明らかにして、今後の教育活動を進めていきます。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。(文責：教務主任 白井)

### 1. 確かな学力の向上

※「前期」は令和2年度7月実施

1	普段の授業では、学習課題が示されていることが多いですか 〔生徒〕		1年生	2年生	3年生	全体
	44 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		97%	96%	92%
前期			95%	99%	98%	97%
増減			+2%	-3%	-6%	-2%
2	普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動を行っていることが多いですか 〔生徒〕		1年生	2年生	3年生	全体
	46 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		68%	59%	75%
前期			69%	65%	69%	67%
増減			-1%	-6%	+6%	±0%
3	国語・社会・数学・理科・英語の授業はよく分かりますか。 (5教科の平均) 〔生徒〕		1年生	2年生	3年生	全体
	37～41 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		89%	85%	79%
前期			91%	84%	83%	86%
増減			-2%	+1%	-4%	-1%
4	お子さんは学校の授業が分かりやすいと言っていますか。 〔保護者〕		1年生	2年生	3年生	全体
	4 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		64%	54%	61%
前期			65%	60%	62%	62%
増減			-1%	-6%	-1%	-3%

#### 【結果から】

「学習課題の提示」は前期と同程度の評価でした。継続して課題解決の力を育成します。「振り返り」の活動には重点的に取り組み、分かる実感を伴って学習が身につくようにします。「5教科の授業が分かる(平均)」では前期と同程度でしたが、「ほとんど分からない」生徒に対して丁寧に接していきます。保護者の「授業が分かりやすいと言っているか」は2年生で60%を下回りました。

#### 【今後の方策】

○ 来年度も引き続き、授業では課題解決のための対話的な活動を取り入れ、「学習課題の提示」と「まとめ」を一つの流れとした授業スタイルを実践します。加えて「振り返り」の活動を重点的に取り組み、「何を学んだか」や「どのように身に付けたか」

を自覚させます。生徒の学力の定着を常に見とり、学び直しを取り入れるなどの「分かりやすい授業」を継続します。

- 新しい生活様式の中にあっても、工夫して対話的活動を取り入れていきます。昨年度に続いて、課題を追究していく場面を丁寧に進め、一人一人の考えを深めることで、「分かる」や「できる」実感を伴った授業を推進します。

## 2. 社会性の育成

1	学習や生活のめあてをもって、毎日をご過ごしています。 〔生徒〕	1年生	2年生	3年生	全体		
		21「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期	70%	71%	67%	69%
		前期	80%	81%	58%	74%	
		増減	-10%	-10%	+9%	-5%	
2	自分にはよいところがあります。 〔生徒〕	1年生	2年生	3年生	全体		
		23「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期	79%	83%	72%	78%
		前期	76%	80%	72%	76%	
		増減	+3%	+3%	±0%	+2%	
3	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。 〔生徒〕	1年生	2年生	3年生	全体		
		26「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期	87%	86%	81%	85%
		前期	89%	85%	83%	86%	
		増減	-2%	+1%	-2%	-1%	
4	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。 〔生徒〕	1年生	2年生	3年生	全体		
		29「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期	97%	98%	88%	94%
		前期	94%	98%	93%	95%	
		増減	+3%	±0%	-5%	-1%	
5	お子さんは学校での係活動や家での手伝いなどにしっかりと取り組んでいると思いますか。 〔保護者〕	1年生	2年生	3年生	全体		
		7「しっかりと取り組んでいると思う」 「概ね取り組んでいると思う」 「不満を言いながらも取り組んでいると思う」	後期	91%	89%	92%	90%
		前期	93%	85%	88%	89%	
		増減	-2%	+4%	+4%	+1%	

### 【結果から】

「やっていることを認められてうれしい」生徒は85%、「友達と力を合わせて取り組んでいる」生徒は94%と前期と同様に友人関係がうまくいっています。新しい生活様式においても、生徒自身が一つの取組に積極的に取り組みました。「自分にはよいところがあります」では78%で、多くの生徒は自己肯定感を感じています。

### 【今後の方策】

- 日常の活動にいっそう目を向けて、個々の生徒の気持ちに寄り添い、共感しながら解決策を一緒に見つけていきます。また、諸活動を通して成長した点やよいところを振り返らせることによって、活動の価値付けを継続して行っていきます。
- 新しい生活様式の中にあっても生徒主体の活動を工夫して推進していきます。生徒会活動など一人一人が活躍する場面を評価したり、互いに認め合う機会を設けたりすることによって、学級や学校全体の支持的風土をいっそう醸成します。

- 「めあてをもって」個々の目標を設定し、その目標を達成するための取組を考えさせ、主体的に取り組んだ活動の成果を振り返ることによって、自己肯定感を高めていきます。また同時に集団への寄与を実感させることにより自己有用感を高めま

### 3. 家庭学習の習慣化

1	宿題をきちんとやっています。		【生徒】	1年生	2年生	3年生	全体
	14 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		89%	92%	87%	89%
		前期		93%	91%	88%	91%
		増減		-4%	+1%	-1%	-2%
2	宿題以外にも自主的に家で勉強しています。		【生徒】	1年生	2年生	3年生	全体
	15 「あてはまる」 「ややあてはまる」	後期		75%	66%	75%	72%
		前期		83%	69%	66%	73%
		増減		-8%	-3%	+9%	-1%
3	ふだん（月～金曜日）、家では、1日にどれくらい勉強していますか。（塾などの学習はふくめ、習いごとはのぞく）		【生徒】	1年生	2年生	3年生	全体
	16 「120分以上」 「120～100分」 「100～80分」 「80分～60分」	後期		64%	63%	75%	67%
		前期		73%	52%	65%	68%
		増減		-9%	+11%	+10%	-1%
4	お子さんのふだんの学習時間はどれくらいですか。		【保護者】	1年生	2年生	3年生	全体
	1 「3時間以上」 「3時間～2時間」 「2時間～1時間」	後期		44%	40%	77%	51%
		前期		46%	33%	56%	44%
		増減		-2%	+7%	+11%	+7%
5	お子さんのふだんの学習時間に対して、保護者の方は満足していますか。		【保護者】	1年生	2年生	3年生	全体
	2 「満足している」 「概ね満足している」	後期		29%	23%	37%	29%
		前期		33%	18%	27%	26%
		増減		-4%	+5%	+10%	+3%

#### 【結果から】

宿題をきちんとやっている生徒は89%と昨年と同程度でした。宿題は最低限の学習として100%になるように指導していきます。全員に家庭学習の習慣が付くようにはたらきかけます。宿題や自主学習をきちんとやってくる風土が整ってきました。引き続き、東新タイムでの家庭学習の内容の確認や、自主学習の仕方の指導を継続します。また、平日の家庭学習時間が1時間以上の生徒が67%と前期と同程度でした。保護者の方にもその様子を把握していただいております。

#### 【今後の方策】

- 終学活後の「東新タイム」を継続して行い、次の3点の指導を継続強化します。
- ① 生徒が自分で家庭学習の予定を立て、家庭学習開始時間を設定する。
  - ② 宿題以外の自学の計画を立て、見通しをもって学習の積み重ねを図る。
  - ③ 学習の仕方について不安をもっている生徒にアドバイスをする。

- 宿題がないときや少ないときにも自主的に家庭学習ができるように、「復習の進め方」で指導しています。適宜、終学活や各教科で家庭学習に取り組むように支援を続けていきます。ご家庭でも、学習開始時間や予定、内容について声をかけていただき、家庭学習を見守ってください。